

## 施策調査専門委員会の検討状況について

## 【 第59回施策調査専門委員会（R4. 7. 1） 】

- <議題>
- 1 役員選出
  - 2 今後の施策調査専門委員会スケジュールについて
  - 3 令和3年度モニタリング調査結果について
  - 4 最終評価報告書暫定版の作成について
  - 5 施策懇談会の実施について

## &lt;主な意見等（要旨）&gt;

## 【 議題 1 】 役員選出

- 委員長には吉村委員（東京工業大学教授）が選任され、副委員長には吉村委員長より五味委員（東京農工大学大学院教授 現：名古屋大学大学院教授）が指名された。

## 【 議題 2 】 今後の施策評価スケジュールについて

- 当委員会の所掌事項、前期委員会からの引継事項を確認した後、今年度の専門委員会開催スケジュールを確認した。（年4回開催予定）

## 【 議題 3 】 令和3年度のモニタリング調査結果について

- 森林のモニタリング調査について、15年間の施策の結果、森林（山）がどのように変化したかということとを全体的に示すことが必要である。
- 令和元年東日本台風については、100年に一度の突発的な事象として整理してきたが、今後大型台風や集中豪雨が起きた場合に、県としてどのような対策をしていくのか説明をした方が良い。
- 河川のモニタリング調査について、動植物調査は5年に1回の頻度であるため、毎年行っている県民調査の内容を経年で見れるようにした方が良い。

## 【 議題 4 】 最終評価報告書暫定版の作成について

- 前回の中間評価報告書では、県民参加と順応的管理についての説明が不足していたので、記載してもらいたい。
- 前回の中間評価の時から社会情勢が変化しており、防災やグリーンインフラといった視点を盛り込んでもらいたい。場合によっては、指標の追加も必要かもしれない。

## 【 議題 5 】 施策懇談会の実施について

- 来年度は、最終評価報告書暫定版を作成することとなるため、複数回開催を考えて欲しい。

**【 第60回施策調査専門委員会（R4. 9.26） 】**

- ＜報告＞ 1 施策懇談会について  
2 経済評価について
- ＜議題＞ 1 令和3年度点検結果報告書について  
2 最終評価報告書暫定とりまとめについて

＜主な意見等（要旨）＞

**【 報告1 】 施策懇談会について**

- 半日ではグループ討議は困難なため、全体討議で行うが、スムーズに進めるため、事前送付する当日資料に合わせて、コメント用紙を事前に配布する。当日共有し、総合討論等で使用したい。
- 議論の流れを中断しないよう、議題の順番等を変更する。議題3（森林環境譲与税と水源環境保全税のすみ分け）を冒頭に変更。「その他」としている表題は、「総合討論」に変更する。議題2の(2)順応的管理(3)県民参加は統合する。

**【 報告2 】 経済評価について**

- 県民会議委員に対する意見聴取は考えていないが、県民会議委員から要望があったため、予備調査をweb体験する機会を設ける予定である。

**【 議題1 】 令和3年度点検結果報告書について**

- 水源林の整備事業について、第3期から所有者への返還が行われているので、森林返還のペースについてデータがあった方がよい。森林塾について、令和2年度の課題として林業事業体の就労条件の改善を促す必要性を示唆しているなので、その対応状況を記載した方がよいのではないかな。
- 令和3年度で第3期が終わるが、基金等の額が増えている状況である。基金等について記載が必要ではないか。
- 間伐材の搬出補助に関して、令和3年度まで生産性の調査を行っているので、取組状況について記載が必要ではないか。
- ナラ枯れ問題について、水源施策の範疇でないとしても、何らかのコメントを入れるべきではないか。

**【 議題2 】 最終評価報告書暫定とりまとめについて**

- 順応的管理については現在のような期ごとに記載するのではなく、PDCAがわかるような記載方法と、15年間でまとめて書くのがよいのではないかな。
- 県民参加については、他府県との違いや、実績を含めて総括した説明を記載した方がよい。
- 第3部の評価資料（事業評価シート）については、60ページもあるため、別冊にした方が読みやすくなる。